

令和 7 年度島根県立図書館の業務

	県民へのサービス	市町村図書館など団体へのサービス(連携・協力)
県内の図書館との連携と協力の推進	<p>○インターネット上で公開されている県内図書館等の蔵書を一度で検索できる横断検索システムの提供</p> <p>○県民へ資料を届けるため、週3回の頻度で各市町村図書館等に向けて協力貸出資料の配送を行う搬送事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性に関わる専門書を県民に提供しやすくするため、4月より島根県立男女共同参画センターの情報ライブラリーを図書取次施設に追加 <p>○市町村図書館等への相互貸借(協力貸出)を通じて県民へ資料を提供</p> <p>○市町村図書館、学校、幼稚園・保育所、公民館等の団体向けの貸出の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書普及のために、県民にとって身近な団体(場所)である公民館図書室や学級文庫等に対して、団体貸出用の資料を提供 	<p>○市町村図書館等職員を対象にした研修の実施(◆資料4 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初任職員研修(第一課程・第二過程) 図書館事務経験者を対象にした専門研修(2回) 市町村図書館に出向いて行う地域図書館職員研修(9回) 小学校、中学校、特別支援学校の図書館に勤務する初任者を対象とした学校司書研修 <p>○市町村図書館等に出向き、図書館業務に関する助言や情報交換を行う協力巡回の実施(◆資料4 参照)</p> <p>○横断検索システムの提供により、所蔵調査にかかる時間の短縮と相互貸借の促進</p> <p>○協力貸出資料のほか、市町村間の相互貸借資料も搬送便を利用して配送することにより、市町村図書館の物流も支援</p> <p>○市町村図書館等への相互貸借(協力貸出)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館では購入しない専門書や高額資料など、多様な県民のニーズに対応した個人貸出用の資料を整備し提供 <p>○市町村図書館、学校、幼稚園・保育所、公民館等の団体向けの貸出の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料が不足している市町村に対し、一括貸出による資料提供を実施(R7は17市町村に貸出) 市町村図書館を通じて、幼稚園等を対象に乳幼児向けの絵本100冊をセットにした「幼稚園・保育所お楽しみ子育て絵本」を貸出。 <p>○第2回島根県図書館大会の開催(◆資料5 参照)</p>
県民や地域の課題解決に役立つサービスの提供(子ども、郷土を含む)	<p>○非来館によるサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> オンラインによる利用者登録、Web上で貸出図書の延長手続、予約等が可能なMyライブラリによるサービスの提供 利用者が直接県立図書館へ貸出を申し込んだ図書を最寄りの図書館で受け取ることができる遠隔地利用者図書貸出サービスを実施。また、選書に悩む保護者に対して「お楽しみ子育て絵本バッグ」のサービスを提供 従来のサービスを改め、新たに郵送にかかる負担等の情報を盛り込んだ「来館困難者のための郵送等貸出サービス」を策定 <p>○障がいのある方へのサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚障がい者等、活字を読むことが困難な人を対象に、点字資料、録音資料、デジタイズ資料等をダウンロードして提供できるサピエ図書館等のサービスを実施 聞こえにくい方などが問い合わせしやすいよう筆談ボードを全カウンターに設置 朗読CDや視覚・聴覚障がい者用の音声ガイドや字幕つきDVD(上映可能な著作権処理済)を整備 「やさしい日本語の利用案内」を作成、HP等で公開 サービスPRのため、音声コードを付加したチラシを作成 11月にライトハウスライブラリー主催の福祉イベント「ららふえすた」に松江市立中央図書館と共同でブースを出展 <p>○課題解決支援や定例講座の開催など多様な図書館活動</p> <ul style="list-style-type: none"> レファレンスサービスを実施、調査に役立つレファレンス事例をレファレンス協同データベースで公開 「法テラス島根講演会」「行政書士無料相談会」「農業講座」など暮らしの課題解決につながる講座を開催 「よろず支援(ビジネス)相談会」の開催 定例講座「古文書を読む会(初級・中級)」「万葉集を読む」「戦争体験記録DB構築講座」「バックヤードツアー」、子ども向け行事「お話し会」など、図書に関わる多様なイベントを実施 学生、生徒の職場体験や実習、見学等の受入れを実施 <p>○広報(資料に関する情報発信など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページと公式Xによる情報発信、来館者へはチラシなど紙媒体を中心とした広報も実施 長く読み継がれている図書と新刊図書から選んだ推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」を作成、HP等で公開 古文書等希少性の高い歴史資料のデジタル化を進め、館内のパソコンでの閲覧利用を推進。利用頻度の高い資料は、HP「しまねデジタル百科」で公開 	<p>○非来館によるサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 「法テラス島根講演会」を県立図書館、浜田市立中央図書館、隠岐の島町図書館の3か所(メイン会場1、サテライト会場2)にてオンラインで同時開催 <p>○障がい者サービス関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の福祉事務所など、関連機関を通じてデジタイズ図書ダウンロードサービス等に関するPRを実施 島根県精神保健福祉連合会が発行している会報紙や益田市が発行している「益田市障がい者福祉ガイド」、また島根県身体障害者団体連合会のHPへの掲載など、関係機関の協力のもと障がい者向けサービスに関するPRを拡充 しまね国際センター等を通じて「やさしい日本語の利用案内」を配布 松江市立中央図書館、ライトハウスライブラリー、県立図書館の3者で、定期的な情報交換を実施 <p>○関係機関と連携した多様な図書館活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館の窓口で、同じような問い合わせがあった時の参考となるようレファレンス事例を公開したり、地域図書館職員研修などを通して市町村図書館職員の資料や情報提供に関する資質向上を支援 諸課題を所管する県庁各課の施策と連携して、毎月タイアップ資料展示や関連イベントを実施(◆資料8 参照) 各市町村に郷土資料モニターを委嘱し、訪問協議や連絡会議を実施 子どもの読書活動に関わるボランティアを対象に研修を実施。また、県内10図書館に事務局を持つボランティアネットワーク「しまね子どもの読書等推進の会」にイベント情報の提供などを実施 <p>○広報(資料に関する情報発信など)</p> <ul style="list-style-type: none"> タイアップイベントの様子や、協力巡回で訪問した市町村図書館の情報をポストするなど、連携事業に関する情報発信を実施 「おすすめしたいこどものほん」に掲載された新刊図書をセットにして市町村図書館等へ貸し出し、実物を見て選書の参考にする機会を提供 松江歴史館や小泉八雲記念館で開催された企画展での資料の提供や、TV放映への協力など、朝ドラ「ばけげん」に関連して郷土資料を提供